2026年６月期　決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年８月14日

上場会社名　　パスロジ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4426　　ＵＲＬ　https://www.passlogy.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）小川　秀治
問合せ先責任者　（役職名）管理部長　　（氏名）黛　慎一　　ＴＥＬ　03（5283）2263

定時株主総会開催予定日　2026年９月29日　　配当支払開始予定日　2026年９月30日
発行者情報提出予定日　2026年９月30日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年６月期の業績（2025年７月１日～2026年６月30日）

（１）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年６月期	306	△9.6	△104	―	△94	―	68	104.5
2025年６月期	338	△5.5	△39	―	△22	―	33	△46.3

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年６月期	34.48	―	14.0	△12.9	△34.1
2025年６月期	16.81	―	6.5	△2.9	△11.8

（参考）持分法投資損益　　2026年６月期　　－百万円　　2025年６月期　　－百万円
（注）潜在株式調整後１株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（２）財政状況

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年６月期	716	496	69.3	249.29
2025年６月期	757	483	63.8	242.77

（参考）自己資本　　2026年６月期　　496百万円　　2025年６月期　　483百万円

（３）キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年６月期	△59	142	△27	209
2025年６月期	24	△56	△9	154

２．配当の状況

	年間配当金			配当金総額（合計）	配当性向	純資産配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年６月期	0.00	8.00	8.00	15	47.5	3.1
2026年６月期	0.00	17.00	17.00	33	49.3	6.9
2027年６月期（予想）	―	―	―		―	

（注）現時点において、2027年６月期の配当金は未定です。

３．2027年６月期の業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	391	27.9	11	―	17	―	19	△70.9	10.04

※　注記事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（２）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年６月期	2,000,000株	2025年６月期	2,000,000株
②　期末自己株式数	2026年６月期	9,800株	2025年６月期	9,800株
③　期中平均株式数	2026年６月期	1,990,200株	2025年６月期	1,995,942株

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）貸借対照表 …… 5
（２）損益計算書 …… 7
（３）株主資本等変動計算書 …… 8
（４）キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（持分法損益等） …… 10
（セグメント情報） …… 10
（１株当たり情報） …… 10
（重要な後発事象） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当事業年度（2025年７月１日から2026年６月30日）における国内経済は、企業の設備投資の回復やインバウンド需要の定着等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、為替の変動による物価高の継続、さらには緊迫する地政学的リスクの影響等により、景気の先行きには依然として不透明感が残る状況となりました。

当社が属するITセキュリティ業界におきましては、生成AIを利用したフィッシング詐欺や標的型攻撃によって、ランサムウエア（注１）をはじめとする高度なマルウエアを標的システムへ侵入させる手法など、AI技術の進化に伴いサイバー攻撃が飛躍的に高度化・巧妙化しており、ITセキュリティ上の脅威が深刻化しております。この状況に対応すべく、政府および民間企業におけるITセキュリティ対策の強化や、安全な認証基盤に対する需要は引き続き高い水準で推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社におきましては主力製品である法人向け認証セキュリティソリューション「PassLogic（パスロジック）」において、多様な認証方式を組み合わせた高水準な多要素認証（注２）の提案活動に注力してまいりました。販売代理店およびパートナー企業との連携強化による新規チャネルの開拓を推進したほか、通信・サービス事業者向けライセンスの提供やクラウド版の販売、既存顧客へのサポート体制の拡充を通じた利用継続および契約規模の拡大に向けた施策に努めてまいりました。

しかしながら、当事業年度の業績におきましては、PassLogicのパッケージソフトウエア販売において、新規・追加案件の受注が想定を下回る結果となりました。これは、期中に受注を見込んでいた一部案件において顧客側の導入時期延期やプロジェクト中止、利用規模縮小等により当期中の売上計上に至らなかったことに加え、一部既存契約におけるサブスクリプション契約の終了や契約ID数の減少が生じたことによるものです。通信・サービス事業者向けライセンスやクラウド版の販売、既存顧客への保守サポート等は概ね堅調に推移したものの、パッケージソフトウエア販売における想定に対する不足分を補うには至りませんでした。

以上の結果、当事業年度の売上高は306,273千円（前事業年度比9.6％減）、営業損失は104,537千円（前事業年度は営業損失39,885千円）、経常損失は94,885千円（前事業年度は経常損失22,890千円）となりました。なお、当期純利益につきましては、投資有価証券売却に伴う特別利益190,565千円を計上したことにより、68,624千円（前事業年度比104.5％増）となりました。

なお、当社の事業セグメントは、自社製品開発事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（注１）ランサムウエアとは、企業や官公庁、自治体、病院等の業務システムに侵入し、情報資産を暗号化して利用不可能な状態にしたうえで、それを復元することと引き換えに金銭等を要求するソフトウエア、又はこういったソフトウエアを利用した攻撃のことをいいます。

（注２）「知識」、「所有物」、「生体」の認証要素のうち、複数の認証要素を使って認証する方式です。１要素のみで認証するよりも不正アクセスが起こりにくいとされております。
PassLogicが提供可能な多要素認証については、下記ページをご参照ください。
・「 PassLogicの多要素認証」ページURL：https://passlogic.jp/multi-factor-authentication/

（２）当期の財政状態の概況

（流動資産）

当事業年度末における流動資産の残高は254,007千円で、前事業年度末に比べ46,132千円増加しております。預け金の増加63,043千円、売掛金の減少8,044千円、現金及び預金の減少7,947千円が主な変動要因であります。

（固定資産）

当事業年度末における固定資産の残高は462,076千円で、前事業年度末に比べ87,526千円減少しております。投資有価証券の減少112,029千円、建設仮勘定の減少53,291千円、ソフトウエア仮勘定の減少30,632千円、建物の増加69,721千円、構築物の増加25,221千円、ソフトウエアの増加13,732千円が主な変動要因であります。

（流動負債）

当事業年度末における流動負債の残高は156,639千円で、前事業年度末に比べ7,592千円減少しております。未払金の減少18,438千円、未払費用の減少11,406千円、未払消費税等の減少4,577千円、未払法人税等の増加23,675千円、前受収益の増加3,735千円が主な変動要因であります。

（固定負債）

当事業年度末における固定負債の残高は63,315千円で、前事業年度末に比べ46,764千円減少しております。繰延税金負債の減少20,123千円、長期前受収益の減少15,205千円、長期借入金の減少11,436千円が変動要因であります。

（純資産）

当事業年度末における純資産の残高は496,128千円で、前事業年度末に比べ12,964千円増加しております。繰越

利益剰余金の増加52,702千円、その他有価証券評価差額金の減少39,738千円が変動要因であります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して55,095千円増加し、209,806千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は59,674千円（前事業年度は24,455千円の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券売却益の計上190,565千円、税引前当期純利益の計上95,679千円、減価償却費66,679千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により獲得した資金は142,127千円（前事業年度は56,108千円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入384,240千円、投資有価証券の取得による支出143,189千円、有形固定資産の取得による支出51,402千円、無形固定資産の取得による支出47,898千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は27,357千円（前事業年度は9,246千円の使用）となりました。これは、配当金の支払額15,921千円、長期借入金の返済による支出11,436千円によるものであります。

（４）今後の見通し

今後の国内経済につきましては、企業の設備投資の回復や雇用・所得環境の改善が期待される一方で、エネルギー・原材料価格の高止まり、円安を基調とした為替市場の状況、緊迫する地政学的リスクの長期化等による景気下振れ懸念など、引き続き先行き不透明な状況が続くと予想されます。こうした不確実性の高まりにより、企業の設備投資意欲の減退や慎重姿勢への転換が生じた場合、顧客企業におけるIT投資の抑制やシステム導入案件の延期等を通じて、当社の営業活動や案件の進捗に影響を及ぼす可能性があります。

一方で、当社が事業を展開するITセキュリティ業界、特に当社が主軸とするID・認証管理分野におきましては、AI技術の進化に伴いサイバー攻撃が飛躍的に高度化・巧妙化しております。近年、AIを悪用した精緻ななりすましやフィッシング詐欺等によって、パスワードが容易に窃取されるリスクが急増しております。これに伴い、パスワードに頼らない高水準な多要素認証の導入や、厳格なアクセス制御・ID管理の強化が企業や官公庁において不可欠な課題として強く認識されるに至っており、安全かつ高度な認証基盤に対する需要は今後も中長期的に拡大していくものと見込まれております。

このような環境のもと、当社におきましては、当事業年度においてPassLogicのパッケージソフトウエア販売が想定を下回った状況を踏まえ、販売経路の再構築と収益性の改善に向けた各種施策を推し進めてまいります。具体的には、多要素認証ソリューションであるPassLogicの強みを活かし、販売代理店およびパートナー企業との連携強化による案件創出の拡大、既存顧客に対するサポート体制の強化を通じた提案活動により、利用継続および契約規模の拡大に取り組んでまいります。さらに、他社製品・サービスとの機能連携を深め、連携先の既存顧客層へ広範にアプローチする販売施策を展開してまいります。

併せて、次世代統合IDプラットフォーム「4Login（フォーログイン）」の事業化を推進してまいります。4Loginは、パスワードに依存することなく個人・法人を問わず複数のIDを安全かつシームレスに統合管理できる基盤であり、自治体、教育機関、医療機関等の法人利用から個人ユーザーのオンライン利用に至るまで、幅広いニーズに対応いたします。IDの一元管理により優れた利便性と堅牢なセキュリティを高い水準で両立させ、社会インフラとしてのユニバーサルなIDプラットフォームへの成長を目指すとともに、関連する新製品・新規事業の展開およびグローバル市場への積極的なアプローチを推し進めてまいります。

これらの取り組みを通じて収益性の改善および売上高の回復を図ることで、2027年６月期におきましては営業損益および経常損益の黒字化を見込んでおります。

以上を踏まえ、2027年６月期の通期業績予想につきましては、売上高391,855千円（前事業年度比27.9％増）、営業利益11,912千円（前事業年度は営業損失104,537千円）、経常利益17,673千円（前事業年度は経常損失94,885千円）、当期純利益19,976千円（前事業年度比70.9％減）を見込んでおります。当社は、これらの施策を着実に実行し、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していること等から、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向等を踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

３．財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年６月30日）	当事業年度 （2026年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,587	74,639
売掛金	30,341	22,296
前払費用	13,482	13,408
預け金	72,129	135,173
その他	9,334	8,488
流動資産合計	207,874	254,007
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,266	81,093
減価償却累計額	△3,114	△5,220
建物（純額）	6,152	75,873
構築物	815	26,574
減価償却累計額	△195	△732
構築物（純額）	619	25,841
工具、器具及び備品	643	1,477
減価償却累計額	△281	△559
工具、器具及び備品（純額）	361	918
土地	22,471	22,471
建設仮勘定	53,291	－
有形固定資産合計	82,897	125,104
無形固定資産		
ソフトウエア	79,309	93,042
ソフトウエア仮勘定	41,392	10,760
無形固定資産合計	120,702	103,802
投資その他の資産		
投資有価証券	332,099	220,070
差入保証金	12,396	10,336
長期前払費用	1,507	660
繰延税金資産	－	2,102
投資その他の資産合計	346,003	233,169
固定資産合計	549,602	462,076
資産合計	757,477	716,083

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年６月30日）	当事業年度 （2026年６月30日）
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	11,436	11,436
未払金	25,016	6,578
未払費用	17,177	5,770
未払法人税等	145	23,820
未払消費税等	4,577	－
前受収益	73,554	77,290
その他	32,325	31,742
流動負債合計	164,232	156,639
固定負債		
長期借入金	58,081	46,645
繰延税金負債	20,123	－
長期前受収益	31,876	16,670
固定負債合計	110,080	63,315
負債合計	274,312	219,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	311,344	364,046
利益剰余金合計	336,344	389,046
自己株式	△1,627	△1,627
株主資本合計	434,716	487,419
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,448	8,709
評価・換算差額等合計	48,448	8,709
純資産合計	483,164	496,128
負債純資産合計	757,477	716,083

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　2024年７月１日 至　2025年６月30日）	当事業年度 （自　2025年７月１日 至　2026年６月30日）
売上高	338,614	306,273
売上原価	125,583	140,139
売上総利益	213,030	166,133
販売費及び一般管理費	252,916	270,670
営業損失（△）	△39,885	△104,537
営業外収益		
受取利息	39	98
受取配当金	18,760	10,965
その他	149	199
営業外収益合計	18,949	11,263
営業外費用		
支払利息	1,557	1,466
支払保証料	277	145
その他	119	0
営業外費用合計	1,954	1,611
経常損失（△）	△22,890	△94,885
特別利益		
投資有価証券売却益	68,926	190,565
特別利益合計	68,926	190,565
税引前当期純利益	46,035	95,679
法人税、住民税及び事業税	6,800	27,476
法人税等調整額	5,679	△420
法人税等合計	12,480	27,055
当期純利益	33,554	68,624

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度（自　2024年７月１日　至　2025年６月30日）

（単位：千円）

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当期首残高	100,000	25,000	307,762	332,762	△435	432,327	114,870	114,870	547,197
当期変動額									
剰余金の配当			△29,973	△29,973		△29,973			△29,973
当期純利益			33,554	33,554		33,554			33,554
自己株式の取得					△1,192	△1,192			△1,192
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							△66,422	△66,422	△66,422
当期変動額合計	－	－	3,581	3,581	△1,192	2,389	△66,422	△66,422	△64,032
当期末残高	100,000	25,000	311,344	336,344	△1,627	434,716	48,448	48,448	483,164

当事業年度（自　2025年７月１日　至　2026年６月30日）

（単位：千円）

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当期首残高	100,000	25,000	311,344	336,344	△1,627	434,716	48,448	48,448	483,164
当期変動額									
剰余金の配当			△15,921	△15,921		△15,921			△15,921
当期純利益			68,624	68,624		68,624			68,624
自己株式の取得									－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							△39,738	△39,738	△39,738
当期変動額合計	－	－	52,702	52,702	－	52,702	△39,738	△39,738	12,964
当期末残高	100,000	25,000	364,046	389,046	△1,627	487,419	8,709	8,709	496,128

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　2024年７月１日 至　2025年６月30日）	当事業年度 （自　2025年７月１日 至　2026年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	46,035	95,679
減価償却費	57,510	66,679
受取利息及び受取配当金	△18,799	△11,063
支払利息	1,557	1,466
投資有価証券売却損益（△は益）	△68,926	△190,565
売上債権の増減額（△は増加）	7,652	8,044
未払消費税等の増減額（△は減少）	△201	△4,577
未払費用の増減額（△は減少）	△7,055	△10,365
前受収益の増減額（△は減少）	6,116	3,735
長期前受収益の増減額（△は減少）	10,347	△15,205
その他	△2,742	△16,610
小計	31,494	△72,782
利息及び配当金の受取額	18,818	11,063
利息の支払額	△1,625	△1,482
法人税等の支払額	△24,232	△3,800
法人税等の還付額	－	7,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,455	△59,674
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,192	△51,402
無形固定資産の取得による支出	△63,602	△47,898
投資有価証券の取得による支出	△61,634	△143,189
投資有価証券の売却による収入	100,621	384,240
短期貸付金の回収による収入	700	－
敷金・保証金の返還による収入	－	377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,108	142,127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入による収入	80,000	－
長期借入金の返済による支出	△58,081	△11,436
自己株式の取得による支出	△1,192	－
配当金の支払額	△29,973	△15,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,246	△27,357
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△40,899	55,095
現金及び現金同等物の期首残高	195,610	154,710
現金及び現金同等物の期末残高	154,710	209,806

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社の事業セグメントは、自社製品開発事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（１株当たり情報）

前事業年度 （自　2024年７月１日 至　2025年６月30日）	当事業年度 （自　2025年７月１日 至　2026年６月30日）
１株当たり純資産額　242円77銭 １株当たり当期純利益　16円81銭 なお、潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません	１株当たり純資産額　249円29銭 １株当たり当期純利益　34円48銭 なお、潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません

（注）１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自　2024年７月１日 至　2025年６月30日）	当事業年度 （自　2025年７月１日 至　2026年６月30日）
当期純利益(千円)	33,554	68,624
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益(千円)	33,554	68,624
普通株式の期中平均株式数(株)	1,995,942	1,990,200

（重要な後発事象）

（投資有価証券の売却）

当社は、2026年７月に、保有する投資有価証券を売却いたしました。

当売却によって発生した投資有価証券売却益は特別利益に、投資有価証券売却損は特別損失に、それぞれ2027年６月期第１四半期会計期間において計上いたします。

なお、本日公表いたしました2027年６月期の業績予想につきましては、本投資有価証券の売却による影響を含めて算出しております。

(1)売却理由

当社の資金運用関連規程に基づき、保有資産の有効活用及び経営資源の最適化を図るため。

(2)売却時期

2026年７月

(3) 売却資産

当社が保有する上場有価証券２銘柄

(4)売却損益

投資有価証券売却益（特別利益）　18,919千円（１銘柄）
投資有価証券売却損（特別損失）　6,326千円（１銘柄）
差引影響額（純額）　12,592千円（利益）